

# INGING NEWS PAPER



## 2019 Vol.05

INGING MOTORSPORT  
OFFICIAL WEBSITE OF PAPER



魅  
せ  
た  
！  
ル  
ー  
キ  
ー  
が

今季初表彰台



Race Report

Round.4 FUJI SPEEDWAY 7/14 Final 決勝 2019年7月14日 富士スピードウェイ

NEXT RACE ▶▶▶▶▶▶▶▶  
ROUND5. TWIN RING MOTEGI 8/17-18

TAKE FREE Support by cyber net  
株式会社 サイバーネット

# 坪井、今季初の表彰台!!

## #39 坪井 翔



優勝できなかったのは悔しいですけど、表彰台に立つことが出来てうれしいです。内容には満足しています。正風、開幕から3戦までは、まあまあ良いレースが出来なかったのですが、内容には満足しています。アレックス選手（保岡）が言うように燃費走行を自分もしていたので、ドライバーが言うように燃費走行を自分もしていたので、トップに追いつける気配は全くなく、また、最後にチャンピオン選手がものすごい勢いで来たので悔しかったです。最後2位のポジションを守り切ることが出来て良かったです。

### 監督 立川 祐路

坪井が表彰台を獲得できて、チームとしてとても良かったです。燃費走行をしながら、厳しい状況の中、順位をキープしてよく頑張ってくれたと思います。天候がドライになるのか、ウェットになるのか難しいセットをどちらに寄せるのか考えますが、それに関して石浦の方はうまく行かない部分がありました。次は、きっちり戦いたいと思います



### Race Report

決勝 2019年7月14日 富士スピードウェイ  
天候:雨/コース状況:ウェット Results #38 石浦 7位 #39 坪井 2位

夜半に大雨の降っていた御殿場周辺だったが、明け方には小降りとなり期を迎えた。朝8時40分からのフリー走行では、坪井が3位、石浦が9位とまずまずの結果だった。朝からの雨は、お昼過ぎには一旦止み湿度も減ったことから、天候は回復すると思われた。しかし、決勝直前に再び降り始めた雨は、瞬く間に路面を濡らし一気に本降りとなった。ウォームアップ走行を終えグリッドウォークが始まると、スタッフがマシンやレーシングギアを雨から守りながら決勝に向けて準備を進めていた。午後1時45分、決勝レース（65周）は降雨の影響を鑑み安全を考慮して、セーフティカースタートとなった。セーフティカーランを3周で終え、4周目にレースはスタートした。ヘビータイヤのコンディションの中、水しぶきをあげながら、1コーナーに各マシンは飛び込んで行く。坪井は、スタートからポールポジションの64号車の背後にしっかりと付いて周回、石浦もスタートの6位をキープのままオープニングラップを終えた。レース序盤は、トップ以外のクルマは水しぶきで視界不良の為、周回を重ねるにつれ徐々にトップから離れていく。そして、時間が経過するにつれ雨脚も強くなりコース上にクルマを留めるのも至難の業だった。坪井は断続的に降り続く雨の中、徐々に離され15周目にトップと約10秒にまでギャップが広がり、モニターでクルマを見つけて行くこのギャップをキープした。途中、オーバーテイクシステムを使い1分43秒前半で周回、ギャップを若干縮め、25周で8.9秒、26周で7.5秒差まで近づいた。この視界と燃費走行の為なかなか追い付く事が出来なかった。



## #38 石浦 宏明

レース直前はコースが乾いていたので、決勝前の8分間の走行はドライの方向だと読んでいたのですが、クルマのチェックよりもタイヤの皮むきをしました。クルマのセットもフルウェットではなくドライになることも想定して、どちらも行けるよう中途半端なセットにしました。水が少ないときは良いのですが、多くなると苦しくなる展開でした。レース序盤から野原選手を追い掛けていました。一度並びましたが、それ以降チャンスを作ることができずに終わりました。そのうちタイヤがブローしてしまい、可夢選手や中嶋選手に行かれてしまいました。どちらにセットを振るかというのは、雨げでもありますし悔し方も残ります。しかし、今週は収穫の多いレースウィークでした。次もときには得意なサーキットなので頑張りたいと思います

